

都市構造可視化の活用事例

長野県
建設部 都市・まちづくり課

i-都市交流会議2020

1

1.活用事例 都市構造可視化のPR

都市計画実務研修会で活用

県内自治体の都市計画担当者が一同に会する研修会において、都市構造可視化の紹介及び実演を実施。→ 可視化について周知することができた。



i-都市交流会議2020

2

2.活用事例 都市計画相談会

都市計画相談会(キャラバン)で活用



- ・各市町村のまちの特徴、課題を一目で共有でき、協議の幅が広がる。
- ・市町村のまちづくりは街区レベルが多いため、メッシュを細かく表示できれば、より活用しやすい。

i-都市交流会議2020

3

3.活用事例 信州地域デザインセンター

信州地域デザインセンターで活用

※信州地域デザインセンター（UDC信州）とは
公・民・学が連携して設立するプラットフォーム。構成団体が協力団体とも連携しながら、市町村のまちづくりを支援するほか、まちづくり人材の育成、県内外の情報を共有するための情報収集・発信等を行う。

事業内容



i-都市交流会議2020

4

4. 活用事例 まちづくり出前講座

小中学校へのまちづくり出前講座等で活用



販売額分布の経年変化



・1979年 商店街の売上が多い

i-都市交流会議2020



・2004年 商業施設の立地により商店街の売上減

暮しているまちの都市構造を可視化
 ・用途地ごとのまちなみ
 ・人口分布、販売額の経年変化等



わかりやすく、子ども達にも受入れやすい

補注：都市構造の可視化計画、地理院地図を使用

5

5. 活用事例 東御市でのPR

東御市で可視化を紹介（活用検討）



意見・感想

- ・シンプルでわかりやすい。
- ・会議、説明会などで活用したい。
- ・事業の根拠資料に活用したい。
- ・企画、商工観光課等にも紹介してほしい。
- ・他市町村との比較や他市町村の実態を把握できる点が良い。

改善点

- ・自治区単位で可視化できれば、活用の幅が広がる。
- ・事業エリアは狭い。メッシュを細分化できれば、検証・協議が深まる。
- ・可視化できるデータを容易に取り込むことができればよい。

活用検討

- 「小中学生の分布×通学路」
- 「交通量×路面性状調査」
- 「除雪路線×高齢者の分布」など

i-都市交流会議2020

6

6.活用事例 東御市での活用

立地適正化計画の会議で活用



i-都市交流会議2020



- ・立地適正化計画未策定。策定を検討中。
 - ・駅（半径1km）を中心に都市機能誘導施設や人口が集積。
- 都市機能誘導区域の検討資料として活用。

補注：都市構造の可視化計画、地理院地図を使用

7

長野県 建設部 都市・まちづくり課

ゆるキャラグランプリ2019
優勝 アルクマ



i-都市交流会議2020

8